

平成 29 年度 第 1 回魚沼市総合教育会議 会議録

1. 日 時	平成 29 年 7 月 12 日 (水) 15:00～16:26		
2. 会 場	魚沼市役所 小出庁舎 302 会議室		
3. 出席者 (敬称略)	魚沼市総合教育会議		
	役 職	氏 名	出 欠
	市 長	佐藤 雅一	○
	教育長	梅田 勝	○
	教育長職務代理者	橘 裕一	○
	教育委員	星 麻衣	○
	〃	高橋 昇	○
	〃	関 伸子	○
	魚 沼 市		
	教育委員会	堀沢 淳 (教育次長) 風間 松司 (学校教育課長) 星 敏夫 (生涯学習課長) 吉澤 国明 (子ども課長) 早川 政宏 (管理主事) 伊佐 貢一 (統括指導主事) 須佐 光行 (学校教育課 副参事) 松井 正人 (学校教育課 副参事)	
事務局 総務課	森山 徳裕 (総務課長) 坂大 昇 (総務管理室長) 和田 純恵 (書記 総務管理室副参事)		
4. 議事	佐藤市長あいさつ 第 1 学校通学区域の再編について 第 2 その他 ・その他の事項		
5. 配布資料	(1) 日程及び関係資料		

<p>6. 議事 森山総務課長</p>	<p>ただいまから平成 29 年度第 1 回魚沼市総合教育会議を開会させていただきます。お手元に配付してある日程に従い進めさせていただきます。最初に主催者であります、市長があいさつをいたします。またこれ以降の進行は、佐藤市長から進めさせていただきます。</p>
<p>佐藤市長</p>	<p>教育行政については、色々課題もあるということも私の方でも理解しておりますし、少子化が進む中での学校教育は難しい局面もあるのではないかと感じております。この地域の子ども達をしっかりと育てていく、そういった部分で教育委員の皆様にお力添えいただきたいと思います。これからのこの地域は、少子高齢化で過疎化していくとは思いますが、子どもたちからこの地域に戻ってきていただける教育や、生活できる環境づくりをしていかなければいけないと思っております。</p> <p>私も、あまり教育について語ってこなかったものですから、実際、どういう形で人づくりをしていったらいいのか、人づくりの大切さは十分理解しておりますが、その方法については皆さん方の知恵を借りながら、より良い環境の中で協力ができればいいなと思っております。</p> <p>義務教育の小中学校だけではなく、幼児教育から高校、大学までも含め、この地域でしっかり子どもたちを育てていかなければと思っておりますので、施設整備も含め皆さんからご協議いただければありがたいと思っております。</p> <p>本日の会議の内容は学区の再編ということで、ある程度方向性ができたということではありますが、あまり時間をかけてやる方がいいことではないと思っておりますので、決定したなら速やかに方向を決めて、そっちに向かって行くことが市民についても安心感を与えるのだらうと思っております。そして、統合される地域については、その地域の思いもそこにはあるのだらうと思っておりますので、時間的余裕がない中でのスケジュールですが、皆さん方の思いを残しながら、新しい形をつくっていただければありがたいと思っております。同じ目線でこれまで協議されてきたと思っておりますので、本日もよろしく申し上げます。</p> <p>日程第 1、学校通学区域の再編についてであります。教育長から説明をお願いします。</p>
<p>梅田教育長</p>	<p>教育委員会として、学区の再編についての今までの流れと、今現在私たちが動いていることを伝えさせていただきます。</p> <p>平成 18 年度に学校通学区域の再編計画が出され、遅くとも平成 28 年度末までに守門、入広瀬地区においては、広神地区と併せて 3 地区を一つの中学校校区とし、広神中学校の校舎を使用するという計画があります。その後の経過を見ますと、地域の反対、要望等が出され、27 年の 6 月から学区再編の検討委員会を立ち上げて、14 回会議を開催してきました。その中で、結論として三</p>

	<p>つ答申されました。入広瀬中学校と守門中学校が統合する。二つ目が、2年から3年後とするということ、三つ目が、統合の場所は、今の守門中学校を使うとの三つが決められました。</p> <p>それを受けまして、本年度4月のPTA総会では答申を十分尊重して、組織委員会を立ち上げるという話しをさせていただきました。5月には、統合するための準備委員会をつくり、教育委員会を開いて進め方を協議しました。そうしますと、なるべく早くがいいということで、2年でいきましょうかという確認ができました。6月14日に、準備委員会を立ち上げる前に地域の代表、校長先生、保護者の代表から集まっていただいて会議をもったところ、2年なのか、3年なのか、早く教育委員会の方から明示して欲しいという話しがありました。私たちは2年で進めたいという話しをさせてもらったのですが、これから2年は短く、厳しいのではということもありまして、それを持ち帰り、また、臨時の教育委員会を開かせていただきました。その中で意見交換したわけですが、全員が一致したということにはなりません。今現在、今日も話し合いをさせていただきましたが、市長がおっしゃるように、地域が学校の思いや意見を考慮してということを考え合わせますと、本当は、私たちは2年でいきたいけれど、実質、間に合わないのではないかという意見が大半でして、一応3年にしようという合意には至っているのですが、個々の委員さんにしては、それぞれの思いがありますので、その思いもお話いただきながら、最終的には8月の教育委員会で再編計画を変更したいということでよろしく願いしたいと思います。</p>
佐藤市長	<p>委員会の決定であったとしても、今の会議は当局との話しでもありますのでご意見を出していただきたいと思います。スケジュール的には、入広瀬が閉校して統合する、守門も閉校して新たな学区をつくり上げるということになるでしょうが、名称の募集やこれまで卒業されてきた方々の思いの集約など、閉校にあたっては色々取り組みがあるのだろうなと思っています。決めていただいた期間内で進めそうですか。スケジュール的にはいかがでしょうか。</p>
梅田教育長	<p>入広瀬中学校は間もなく70周年を迎えます。今年度周年行事を実施するとは聞いていませんが、守門中学校は10月22日に40周年記念事業を予定しており、そのための組織を立ち上げて準備に入っています。この式典が終わらないとなかなか次の段階にはいけないということで壁があると感じています。</p>
佐藤市長	<p>今、その話しをしたのは、干溝小学校の統合が三十七、八年前にされたのですが、その時は色々問題が出て、閉校式をしませんでした。今、体育館だけ残っているのですが、旧校庭のところに記念碑を建てたいという地域の要望が今あがってきております。この地域からも三十数年経ってやっと、そういう話しが出てきたと。私も、そうならないように、守門中学も入広瀬中学も地域の</p>

<p>委員</p>	<p>皆さん方からすっきりと送り出しをしていただけるようなシステムをつくっていただければありがたいなど。期間は別として、そういう心をしっかりと受け止める仕組みが、これから残された時間の中で出来上がっていただけたらありがたいという感じのところでは。</p> <p>学校がなくなるというのは非常に寂しいと思いますので、「皆で地域から子ども達を動かす」ということを決め、代々伝えていただければありがたいと思います。心をつなぐ閉校式になっていただければありがたいと思います。</p> <p>教育委員会で決めた内容は教育長が説明したとおりですが、実際の学校の設置者は市長ですので、その話しの場として総合教育会議を設定していただき、御礼申し上げます。</p> <p>その上で、今まで5月から色々な面で話しをしてきましたが、最終的に教育長の方からここまで延びた理由があるということでしたが、ここまで延びたから3年だという、そういうやり方は反対したいと思います。わざとここまで延ばしたように聞こえてしまうからです。あくまでも、6月の会議の話になりますけれど、行政当局として、速やかなる行動を、アクションをとって欲しいということが本当の狙いですので、そののところが市長、よろしく願います。その上で、私個人としては、子どものためを思うことは一緒ですので、なるべく早くということであれば、やはり、2年だったと思っております。教育委員会の方針でありますので皆さんの意見を尊重し、これから進んでいってほしいと思っています。</p>
<p>佐藤市長</p>	<p>今のご意見は教育委員会の行動だけでなく、行政当局も同じだと思うのですが速やかなアクションを起こして行動することが求められる、その中で方向を変えていくということは十分あると思うのですが、それが遅れるとどんどん、日にちだけが経過して、結果的にあまりまとまりがよくないものになってしまうことが十分考えられますので、鉄は熱いうちに打て、と言われるように、いったん決定したら躊躇なく動くということが求められるのだろうなと思っています。その中で、成功もあり、失敗もあるかもわかりませんが、まずはその部分で行動していかないと期を逸した行動になってしまうと焦点がぼけてしまう可能性もあるので、できるだけそうならないように、私も行政当局をしっかりと見ていきたいと思っておりますし、教育委員会の皆さん方もそういう視点でまた見ていただければありがたいなと思います。</p> <p>一つ例にとれば、学校教育の中で導入しなければならならぬものがあるれば、速やかに導入していただくという指示を教育委員会から出していただきたいと思っておりますし、他地域に遅れてしまうと子どもたちの成長にも影響してしまう可能性も秘めている部分もありますので、子どもたちへの投資は極力惜しまないというのが求められると思っております。ただ、個人的な要求や過大な要求はなかなか受けづらいこともあるかと思いますが、それは教育委員</p>

<p>委員</p>	<p>の皆様方に相談しながら、これは是非入れておくべきことだというのがあれば、当局の方も尊重しながら対応させてまいりたいと思います。子どもたちをどう見ていくかというのは現場の教育になっていくし、総合的に判断して見ていただく皆さん方の仕事も大変だなとも感じております。</p> <p>あくまでも私の意見ですが、先ほど教育長が統合の会議の中で3点ほど決まったという話をされましたが、守門中学校の校舎を使用するということが、これがそう決まったことであればそれは構わないのですが、この前、十日町市で開催の小中一貫教育の説明会に行ってきました。内容は大体わかっていたのですが、一番気になっていたのは、一つの校舎の中で小学校、中学校ができるのかという話、実を言うと、守門がそういうことであるならば、確かに、耐震化という話もありますが、須原小学校の中に守門中学校ができるのではないかと。なぜ、この話を今ここでするかと言いますと、2年から3年に検討する期間ができたということが一つ。将来的な話をすると先ほど市長がおっしゃられたような、地域の希望があると。そうするとこの魚沼市は6町村が合併した地域で、各地域で中学校を残して欲しいという意見が出る。残念なことに、宇賀地小学校、湯之谷小学校を除いて全部、昭和40年代から50年代に造られたものばかりなのです。そうすると、あと、10年、15年で耐用期間がきてしまいます。建物を造るのには30億円かかります。毎年、造るわけにはいかない、でも、学校も残して欲しい、ということであるならば、魚沼市の守門地域を先例として、小中一貫教育とする。また、堀之内小学校、中学校を一体化し、そこが堀之内の一体地区、または、小出の一体地区、そうすると各地区に小学校、中学校ができ、地域の思いも残る。小中一貫校として先生の交流もできる。これは私の意見ですので、これが良いというわけではないのですが、検討する価値はあるのではないかなと思っています。</p>
<p>佐藤市長</p>	<p>私も同感です。津南は先進的に始まって、湯沢は校舎を新築する際にそういうことをしたということです。入広瀬の方にも対話集会のときに意見を聞かせてもらいました。中には、中学校は仕方がないけど、小学校だけは残して欲しいと。学校がなくなるということは地域の衰退を必ず招くのです。地域への思いを子どもうちに育てていくということが非常に重要な、多感な時期にそれを植え込むとふるさとを思う気持ちがきっちり残るとということです。児童、生徒数が減っているというので入広瀬については、時代だから仕方ないかという思いの一方、二つを一度になくさないで欲しいという入広瀬地域の思いを感じました。どんなことがあっても、小学校は認めないという話をされた方が何人もいて、そういう思いなのだろうなということを感じてきました。地域、地域の思いは残しながらいかなければならないと思っています。湯之谷については、隣の中学校もかなり古くなっているので、小学校を造るのであればもう少し規模を大きくして、体育館を大きくしてはどうだという、逆に、中</p>

	<p>学校のところに大きい体育館・グラウンドを造って、小学校の校舎のところを学習棟の形とすればどうだったのかなという気は若干しましたが、小学校は小学校という形で進めていたので現在の形になったと思っています。私も考えたこともあるのですが私が発言できることでもありませんでした。</p>
委員	<p>私も発言するには、先例や法律を知らないで発言するのはいかがかと思っていたのですが、この前の研修に行って、実際こういうことができるのだと思って、今日発言させていただきました。</p>
佐藤市長	<p>私も法律がわかって話すのではないのですが、夢は語っていた方がいいと思うのです。そのあとに法律制限があるとか、許認可の問題で色々あるというのは、その後に考えればいいことだと思うので、最初は教育委員会の中の事務もそうですし、我々もそうですが、できるかできないかということよりは、まず夢を語って、それが市民のためになるのであれば、法律を無視してはできませんが、その中でできることを探していくということが一つの方法なのかなという気がしています。</p>
委員	<p>夢は語っていた方がいいという今のお話は私の中で新鮮で、ああ、そうかと。夢は語っていきたいと感じました。</p>
佐藤市長	<p>子育て世代の方の目線や、孫を見る目線で見ていただくことなど、様々な目線で見ていただいた方が違っていいのかなと思います。若いお母さんが苦しんでいることもあるかもわからないし、この辺は今、鍵っ子になっている子はいないかもわかりませんが、そうならないように、そういう環境であれば、どう地域が手を差し伸べたらいいのかという、そういう事例もあれば考えて発信することもできるのではないかと思います。違う意見があってもいいのだろうと思います。</p>
梅田教育長	<p>私も始めは2年ですばやく統合ということも考えたのですが、今の中学1年生は入学の際に統合ということは言われていないので、守門中学、入広瀬中学を卒業するという思いで入学したと思います。部活にしても1年生は3年生の今の時期に花開いて、後半は勉強に入るのだと思うのですが、2年にしてしまうと違うようになってしまう、3年生をやり終えてけじめということを考えてときに、十分考えなければならぬという気もしています。</p> <p>交流ということでも、すぐ統合ということではなくて、1年前くらいに例えば、修学旅行を一緒に行くとか、様々なことをしようと考えると、さらに前倒しで計画を考えなければなりません。やはり、余裕を持たせることも大事だと思いました。先々の一貫校までの思いにはならなかったのですが。</p>

佐藤市長	<p>色々な意見が出てきていいと思うのですが、先ほど地域の思いという話をさせてもらいましたけれど、実は今年、6地区の東京郷人会に出席しましたが、小出や湯之谷、堀之内は最後の締めはヨイヨーサや大の阪で終わることが多いのですが、入広瀬会では40人ちょっと集まり、最後は校歌と応援歌で終わったのです。そういう地域に対する思いが強いという気がしています。来年入広瀬会があつて集まったときに実は閉校した、ということでは困りますので、情報を発信しながら準備を重ねていかなければならない。教育長が言われたように、今入学した生徒が一緒になった時にすでに友達状態でいられる環境、そんなことも考えています。地域への思い、子どもたちの学校がなくなることの思いを含めて積み上げをしていただけたらありがたいと思います。</p> <p>これからでは2年半ですので、そんな時間があるわけでもないという気もしていますので、その中で思いを集約していただければありがたいという気がしています。</p>
委員	<p>今まで6回成人式に出席しました。成人式に出ると当然のことながら、久しぶりということで大体同じ学校ごとに座っています。そうすると、成人式が終わった後は同級会だと思うのです。今二十歳の方が、あと60年を生きるのか、大人があと60年を生きるのかと考えた時に、子どもが自分で大きく成長していくために友が必要なのです。その長さを考えたときに一人でも二人でも友達が多い方がいいということもあつたと思うので、確かに地域の思いも大事なのですが、将来を担う子どもたちの仲間をつくってもらいたいと思います。</p>
佐藤市長	<p>この限られた時間の中でそれをどうつくりあげていくかということですが、修学旅行や運動会を2校一緒にやり始めるとか、そうやってちょっとずつ、私はスポーツ系にいたので、部活という話しになってくると、一つの競技種目で同じ体育館に集まると、意外と仲良くなるのです。直接会話をしたことがなくてもお互いに情報交換をしながらやっていることもあるので、そこはうまくいくような感じがしますが、そうでない子はなかなか接点がないと、きっかけがないと友達づくりも進まない、それで心が開かない環境をつくってしまうことも考えられますので、そうならないように同じ土俵の中でみんなが動けるようにしてもらえればありがたいです。</p> <p>生涯にわたる本当の親しい友達はそんなにできないで一人いるか、二人いるかだと思います。ただ、会話したことがある、知っている人がたくさんいるということは非常に有利なことで、その範囲が広ければ広いほど、自分のキャパが広いということになりますので、大事にしていきたい。私は1回知り合ったら絶対離さないぞという思いで、北海道から沖縄まで年代の範囲も広い仲間がいます。ごく親しいかというところでもないのですが、お互い理解がある部分もあつて付き合っています。それを子どもたちのうちにしっかりとした</p>

	<p>友だち、頼りになる友達をつくるのが成長にもつながっていきます。優秀な人材を育てるきっかけにもなりますので皆さん方の活躍を期待したいなと思います。</p>
委員	<p>学区再編については、やはり、教育委員会で決まったことは、もう少しスピーディーに対応していただきたい。</p>
佐藤市長	<p>私を感じるころだと、委員会としての決定というよりは、地域や学校のことを考慮しすぎた部分が先に延びた結果だという気がしているので、決定しても、今になると4か月も5か月も経つわけですので、そうすると時間が短くなってしまいます。決めたらさっさと動けば時間の余裕があると思います。その中で、そういう方向で学校も地域も今度それに沿って動かなければならないという環境を先につくればよかったのかなという気は若干していますが、今、ここになってはこの4か月、5か月の遅れが最後まで響くと思うので、地域の思いをしっかりと汲み取っていただく準備を早めに、もう決定したのしょうから、先に進めてもらうということがいいのではないかと思います。</p>
委員	<p>3年にするかという話は地域である程度決まっていたと思うのですが、やはり、きっちりした方がいいと思います。</p>
佐藤市長	<p>そういうことを含めて、スムーズな活動ができるように私も期待したいと思いますし、皆さん方の意見を私が聞くのはいいのですが、教育委員会の決定をひっくり返すというわけにもいきませんので、経過も大体理解しましたし、教育委員会の決定は最高意思決定機関で、法律に基づいた委員会の決定ですので、そこは、誰が言っても引けない部分もあるかもわかりませんが、そういった思いでやってもらえたらありがたい、それだけ、皆さん方に責任がかかっているということで申し訳なく思います。</p>
委員	<p>東湯之谷小学校と井口小学校の統合、また、今回の湯之谷小学校の移転、校名変更のときも見てみると、意見は様々にあると思うのですが、やりだしたら、子どもたちのために動き出すので、きちんと早めに方針を出すというのは大事なかなと。今回、守門と入広瀬を考えたときにそう感じました。</p>
佐藤市長	<p>義務教育ではないですが、大沢にあった保育園を東湯之谷のひかり保育園にもっていくか、井口の方にもっていくかということで、当時の市当局が出したのは東湯之谷の方にもっていくと。これは、今までの湯之谷の経過からすると、佐梨川を下る川の流れに沿った人の移動をさせないと難しいのです。東湯之谷小学校を閉校したときも水の流れに沿っていると。湯之谷の場合は一つ</p>

	<p>の谷の中にあるので、一つの文化があると。その地域、地域の思いはみんな違うと思いつながら、今の井口小学校と湯之谷小学校の移転のときも、上ノ原の人はどうするかという話もあったのです。国道より小出側の人はみんな小出小学校に行くのではないかという心配もありましたけど、湯之谷小学校に通っているようです。先ほども話がありましたが、子どもたちの心のつながりなのです。そこがやはり離れない限りは大丈夫、それをつくり上げていくのがこの地域の良いところなのだという気がしています。</p> <p>課題があればいつでも情報交換をと思いますので、こういう機会をお願いしたい。私も現状を教えてくださいたいということがあります。</p> <p>次に日程第2、その他であります。何かご意見等はございませんか。</p> <p>よその市の総合教育会議についての新聞記事で読んだのですが、子どもたちの学力向上のために家庭学習に力を入れ、成果につながっていると。家庭学習の呼び水として、その日の授業の復習や予習など、下校時間の前の自習の時間に取り組み、そうすると、家に帰ってからの家庭学習にスムーズに移行できるという記事がありました。</p> <p>また、ほかのテーマとしては、子どもの貧困問題がありました。3年調査をされたようで、2012年度調査は6人に一人だったものが、その間、経済情勢が若干好転したのか、2015年度は7人に一人と好転していると。私は、魚沼市でどうなっているのかわかりませんが、もし、経済的に厳しい状況の中で、どういう問題が表れているのか、教育現場で支障があるのであれば、厚労省の問題になるのかもわかりませんが、教育現場で問題が生じているのであれば、教育現場で取り組むべきではないかと思いました。また、隠れ貧困等も考えられ、これから調査していく必要があるのではないのでしょうか。</p> <p>また、先生方の残業時間がかなり多いことが見受けられ、教育現場での働き方改革が求められているのではないかと思います。その辺の実態調査は市内でやったことはあるのか、今後考えていく必要があるのではないかと感じています。</p>
委員	<p>私は、学校教育、社会教育、家庭教育という三つの教育の場があると思っておりますが、今、放課後教育について取り組んでいるコミュニティ協議会があります。先日、井口新田大下コミュニティ協議会の総会に行ったときに話しがあったのですが、退職された先生が仲間を募って、学習塾みたいな、そんな活動をしている事例がありました。これは、おそらく、学校からまだ自宅に帰らないで、予習、復習をするような環境づくりをしていくのではないかなという気がしますが、それが、各地自治会やコミュニティ協議会で進められれば、教員資格を持つなどの人たちから、塾に行く前の予備的な、その日、次の日の教育サポート的なことが各地域できあがってくればいいなと思っています。こ</p>
佐藤市長	

	<p>のコミ協のことは見守っていきたいと思っています。</p> <p>子どもの貧困については、課題もあると思うのですが、教育費は無料ですが、給食費や修学旅行の経費はどうなっているのかなと思います。福祉の部分の関係もあるので、実際魚沼市内にどのくらいの対象者がいるのか、生活保護世帯も含めて、子どもたちが学習できない環境ではだめだと思いますのでどういう環境なのか、教育委員会の皆さん方と福祉関係の人達を入れて情報収集をやっていければと思います。公平で公正な学習環境を与えてやらなければならないということだと思いますので、その辺がしっかりと担保される環境づくりは、教育委員会で作っていくとか、監視していくことなのでしょう。学校教育課の方でできなかつたら、教育委員会が積極的に指導という形の方がいいでしょうし、いじめについても同じことでしょうが、そういうことでやっていただければありがたいと思っています。</p> <p>教員の労働時間については、今日の新聞だったでしょうか、教育現場においてタイムカードできちんと管理しているのは約2割という記事掲載されていましたが、そうすると残りは管理ができていない、これはいかがなものかと。実際に今、心の病や様々な罪を犯してしまう先生方もいますが、ストレスからそういったことになってくるというのも、過酷な労働環境があるのかもしれないし、現状は完全に管理されているものはないと。部活を指導し、本来の教室での教育よりは、どちらかというと、事務室に帰ってきてからの仕事の方が多いいということでしょうから、1日8時間机に向かっていたら事務も進むでしょうが、そうはいかず、中々大変だと思いつつながら、過酷な労働条件の中でやっているということは感じとりながら、実態がわからないということなのではと思っています。その辺は教育委員会が調査できるのでしょうか。</p> <p>梅田教育長</p> <p>県の教育委員会に各学校は報告義務がありまして、ひと月60時間以上時間外勤務をした者が何人いるか、年代別、管理部門別に報告をします。魚沼市では、一、二の学校を除いてはほとんど平均すると一日3時間ぐらいです。中学校の先生方は多いと。部活が終わってそれから仕事をするということになり、部活も今、縮小したいけれど周りを見ると縮小できないというプレッシャーみたいなこともあって、1週間の平日に1回や、土日のうち、1回は休むように取り決めをしているのですが、大会があればそうとも言ってもらえないということです。調査は始めていますが、タイムカードを実践している学校も二、三ありますが、現場では会議を少なくしたり、7時までには帰るようにしたりと勧めていますが現実には守られていない実態です。</p> <p>佐藤市長</p> <p>労働協定もあるので、それは守らなければならないということでしょうが、実際の現場は、中々うまくいかないのだろうなという気はします。立場だとか、クラスを持っている先生方も学年によっては状況が違ったりすると一概</p>
--	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<p>委員</p>	<p>に同じということにはならないと思います。</p> <p>先ほど、井口大下コミュニティ協議会の話でしたが、違う意味で私はそれを進めていただきたいと思います。湯之谷地域は学童に通っている率が50パーセントです。ということは、多くが学校と自宅を行き来していることになるのです。そうすると地域とのコミュニティが少なくなっていますので、学校から出ませんから、地域の人から学校へ来ていただきたいと思います。学習を教えていただけるならいいですし、また、地域の伝統行事や食事なども一緒に教えていただければ願ったり、叶ったりだと思っています。</p> <p>子どもの貧困と関係してくるのが引きこもりです。3年前に調査したことがあります。民生委員の調査によれば、市内で80人いると。年代は20代から70代までですが、温かい学級づくり支援事業に取り組んで4年になりますが、貧困家庭は引きこもりになりやすいという統計もありますので、是非ともこれについては、取り組んでいただきたいと思います。</p> <p>先生の労働条件についてですが、2学期制について検討できるのではないかと考えています。2020年に英語の教育が小学校3、4年生まで学年が落ちてきますので更に先生の労働時間が増えてしまう。そのために2学期制を一つの方法として時間を確保するのがいいのではないかとということで近隣の町村の動きも見ながら検討していく必要があるのではないのでしょうか。</p>
<p>佐藤市長</p>	<p>2学期制については検討する必要があると思うし、それを委員会の中で協議するだけでなく、県の教育委員会を通して全県的に動くとか、特徴のある学校教育を推進していくということで、教員の負担が軽くのなるのであれば、発信して、周辺を巻き込んで大きなうねりにしていく必要があると思います。ただ、魚沼地域だけそれができるのかどうかということは別問題として、うねりはつくっていく必要があると感じます。</p> <p>引きこもりの件も小出ボランティアセンターで、自由に参加でき、ボランティアが行って話し相手になり、心を開いて徐々に社会復帰できるという仕組みをつくろうという取組もあります。引きこもりは深刻な面もあり、心を閉ざしてしまうと開くのがなかなか難しいですので、それは社会福祉団体の力も借りながらやっていかなければならないと思います。ただ、放置しておけばいいという話しではないので、関わりをもっていただきたい。特に、義務教育の子どもたちに取り組んでいただきたいと思います。地域コミュニティの子どもへの参画は、勉強だけでなく、色々なところで始まっていますが、地域コミュニティについては子どもたちを巻き込む地域行事、そういう視点を持ってもらいたいなど。発信は当局の方からしていかなければと思います。湯之谷は確かに、今、いいスタッフ、意識の高い人がいます。</p> <p>スポーツはスポーツ少年団とか、部活支援で積極的に地域が関わる環境ができていますが、学力向上はなかなか手出しをしないということもあるかも</p>

梅田教育長	<p>わかりません。教育委員会部局というよりは、行政の方で発信できるところはしていきたいなと思います。</p> <p>子どもの学力を高めていくためには、やはり、教職員だと思っています。今の教育委員会の体制では、学習指導センターには3人の指導主事がいて全部の学校を回って指導してもらっています。魚沼市は若い先生方、特に教員になって3年終わって、遠くに配属されて、4年目の先生方が多いです。へき地勤務ということで、これから力をつける先生方が多く、先生方を指導する体制ですがアップアップしています。これから英語が始まりますが、全学校で充実させていくには、采配を振ってALTを動かしていくことを考えますと、指導体制がもう少し充実できないかと、実際感じております。</p>
佐藤市長	<p>今の話しは実感としてわかるような気がします。退職者を活用した教員指導係はいないのでしょうか。</p>
梅田教育長	<p>3人の内、二人は指導係としてやってくれています。</p>
佐藤市長	<p>それは各学校に一人ずつ配置にはならないのでしょうか。</p>
梅田教育長	<p>教育委員会として全体を見て、担当教科の専門性もありますので、チームを組んでいく体制があります。</p>
委員	<p>テレビでやっていたのですが、若い先生は相談したいけど、皆さん忙しいから相談できないと。退職した先生が授業を見てくださって、指導しているという小学校をやっていました。</p>
佐藤市長	<p>地元の方でOBの方を活用できればいいのかなという気がします。教育現場にいた方なら若い世代を育てられるのではないかと思います。子どもたちも伸び伸びするのでないでしょうか。そういうことも充足しているかどうか、教育委員会として予算組みも必要であれば対応していくという、教育委員会からの要請ということで、議論できればと思います。</p>
委員	<p>中学校の先生の対応ですが放課後の帰る前の学習をやっている中学校もあります。終学活後の何分を決めて、何ができたか何ができなかったかを一日振り返り、家に帰って何分勉強しようかなと計画を立てて帰る時間をつくっているようです。</p>
佐藤市長	<p>先生方にとっては、それもサービス、そのあとの事務処理が遅くなることにもなります。湯之谷は退職した先生が一生懸命になってコミュニティをつく</p>

	<p>りあげようとやっているものだと思います。せっかくそういう能力をもっている方々の能力もそういうところで発揮いただければなと思います。また、教育員委員会の中でも地域の社会教育的なものも煮詰めていただきながら、進んでいただければありがたいと思います。</p> <p>私はどちらかといえば、皆さんから聞かせていただくだけですけれど、よろしく願いいたします。</p> <p>ほかにはないでしょうか。(なし) ないようですので、次回について事務局から1点説明させていただきます。</p>
堀沢教育次長	<p>先ほどの定例の教育委員会の中で、8月の定例教育委員会で市に伝えたいことや要望があればお聞かせいただきたいという話しをさせていただきました。それにつきまして、また、日程調整をさせていただくこととなりますのでよろしくお願いいたします。</p>
佐藤市長	<p>子どもの貧困とか、そういうこともデータを集めて委員の皆さん方には出した方がいいのだと思います。学校教育の方でつかんでいますか。</p>
委員	<p>ある程度収入がない世帯に対して、学用品の補助をしています。それから、父子家庭、母子家庭に対しても補助があります。</p>
教育長	<p>労働時間は毎月県に提出していますのでお示しできるかと思います。</p>
佐藤市長	<p>現状と対策についても、絶対理由がありますので、個人の能力なのか、時間の配分なのか、そのほかの要因があるのか分析はできるはずなのです。</p>
委員	<p>現場に資料を求めると、また、資料が増えて現場の負担を増やす、残業時間を増やしてしまうようになります。</p>
佐藤市長	<p>学校の事務を増やすようなことはだめだけど、行政でできることはしていかなければならないと思います。</p> <p>それではまた、要望等がでてきたら開催させていただきたいと思います。それでは私の進行はこれで終了させていただきます。</p>
森山総務課長	<p>本日の会議録は事務局で調整させていただき、皆さまからご確認いただきたいと考えています。次回の会議につきましては事務局で調整し、連絡させていただきます。</p> <p>これをもちまして、第1回魚沼市総合教育会議を閉会とさせていただきます。</p> <p>本日は、ありがとうございました。</p>